



発行所：ベトナム子供基金

〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13 アジア文化会館内  
電話(代表)：03-3946-4121 ファクス：03-3946-7599  
電子メール：kodomokikin@nifty.com ホームページ：http://homepage3.nifty.com/vcf/

# ベトナム子供基金通信

No. 44  
2008. 7. 19



Hiep と祖母 (関連記事7ページ)

3年前の2005年7月5日の朝、ホーチミン市の青葉奨学会事務局で、私は里子の Huynh Tien Hiep (フィン・ティエン・ヒエップ) との初対面がかないました。彼の里親になったのは、03年3月(小学校4年生：10歳)ですが、05年6月に、友人が中元セールでベトナム格安ツアーを引き当てたので、それを受けての訪越でした。

Hiep は、白い半袖の開襟シャツ

に十字架のネックレスを着け、清んだ瞳に白い歯を見せて待っていてくれました。ベトナム語が全く分からない私は、当時青葉奨学会事務局員の工藤由美子さんに、まる一日通訳以上のお付き合いいただき、感謝の言葉もないほどです。

Hiep の誕生日が7月6日なので、何かプレゼントをと言うと、彼は少し考えて、9月の新学期から使う教科書が欲しいと言います。

一緒に書店に行き、そこで全科目をそろえたとき、彼は遠慮がちに弟の分もよいかと尋ねてきました。双子の弟がいることを私は忘れていたのです。そして、彼の弟へは、Hiep の気持ちに感動した同行の友人がプレゼントしてくれました。一人当たり数百円の贈り物でした。

高校入学で一段成長したであろう Hiep に再会したい気持ちです。

(須田 美智子)

# 2008年ベトナム子供基金総会開催さる

本年の総会は5月17日(土)にアジア文化会館で開催されました。議長に金沢市から出席された高橋強さんを選出した後、近藤昇代表から1～4号議案が提案され、いずれも承認されました。総会には遠く沖縄県から、村田光司さん(青葉奨学会沖縄委員会)も出席されました。ベトナム留学生も、学業の合間をぬって5人が出席し、ベトナムの現状や日本での生活を報告しました。出席されたのは、ニョンさん(Lai Thi Phuong Nhung 一橋大学大学院)、フーンさん(Nguyen Thi Kieu Huong 東京大学)、アンさん(Dau Duy An 東京大学大学院卒、会社員)、ナムさん(Ho Quang Nam 東京大学大学院)、フンさん(Nguyen Quang Hung 東京工業大学)でした。

近藤代表の本年度活動方針(要旨)は次の通りです。また、ニョンさんのあいさつを次ページに載せました。



あいさつする近藤昇代表

## 青葉奨学生401名に決定

2008年に、本基金が受け持つことになった青葉奨学生(里子)数は401名です。彼らが安心して学業に精進できるよう奨学金支援を継続いたします。

里親と里子の間のよりよい意思疎通の可能性を、青葉奨学会と協力して検討します。

## 黄梅奨学金、拡大したい

黄梅基金は原則的に「継続」です。農村・漁村・山岳地域の恵ま

れない子どもたちに、基金利子で奨学金支援を行います。今年は、昨年の630名を超える支援を実現したいと思います。

## 春の木運動、早める

昨年度に緊急に実施し、反響の大きかった「春の木運動」支援に、今年は時間的余裕をもって参加します。

貧しい家庭や孤児院の子ども障害者たちが、少しでも幸せな気持ちで「テト(お正月)」を迎えられるようお手伝いをしたいと思います。

## 『VCF 通信』の充実を

『ベトナム子供基金(VCF)通信』は、青葉奨学生を中心にすえつつ、ベトナムの子どもたち全体の置かれている社会環境についても、会員の皆さまにお伝えできるように発行します。

## ネットのホームページ

インターネットのホームページの更新は念願でしたが、昨年度はスタッフに時間的余裕がなく、更新できませんでした。

「ベトナム子供基金」の実情を多くの方々に紹介するために、インターネットによる情報提供は不

可欠です。

今年は事務局スタッフに加え、ドンズー日本語学校出身のベトナム留学生やその他の方の協力を得て、更新する見込みです。

## 手紙の翻訳者層、厚く

従来のスタッフに加え、1月から、ベトナム留学生が履歴票の翻訳や宣伝活動などに参加してください。

今までも随時留学生と協力してきたのですが、今年は子供基金、ベトナム留学生の双方から、長期的な協力体制を実現させようという意見が出ています。

## 課題は寄付金の波!

里親基金をはじめ、一般基金、賛助基金など寄付金には波があり、収入が必ずしも安定しません。本部は事務経費を削減し、青葉奨学金支援総額を増やす努力を続けます。会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

## 「共に生きる」こと、原点

子供基金はボランティアによって運営されています。ベトナムの青葉奨学会などと力を合わせ、「共に生きる」ことが実現できるよう努力します。



議長の高橋強さん

## 貧しいわが家に青葉奨学金、 とても貴重でした！

元は「青葉奨学生」です  
皆さん、こんにちは。

私はベトナムの北部にあるナム  
ディン省で生まれて育ちました。  
高校時代に「青葉奨学金」を受給  
しました。

ベトナムの財政大学を卒業後、  
ドンズー日本語学校の日本留学プ  
ログラムに参加し、2004年にホウ  
エ先生の尽力で日本に留学しました。  
現在、一橋大学大学院・経済学  
専攻・修士課程2年生です。

### 家庭は貧乏でした

青葉奨学金を受給し始めたのは  
1997年です。3年間受給しました。

家庭は貧しかったので、日本か  
ら送られた青葉奨学金は私にとっ  
てとても価値あるものでした。学  
費負担を軽減する一方、私の「頑  
張り」の動機にもなったのです。

奨学金を贈ってくださった人  
には感謝の気持ちがいっぱい、そ  
れを忘れたことはありません。

### 里親を知る

日本に来てかなり時間がたった  
去年の6月まで、私は自分の里親  
が誰なのか分かりませんでした。

たまたま去年のベトナム子供基  
金総会に出席する機会があり、事  
務局の方々にお会いでき、自分の  
里親が誰か、調査をお願いしまし  
た。うれしいことにわずか2週間  
後、ベトナム子供基金事務局から  
「ニュンさんの里親が分かりまし  
た」というメールが来ました。

とてもうれしくてすぐに里親さ  
まに連絡し、文通を始めました。  
お手紙を通しいろいろ励ましてい  
ただきました。でも一度も会った  
ことはなかったのです。

### 今日、里親と会う

その里親さま（千賀恒雄さん、  
岐阜県美濃加茂市在住）が、本日  
の総会で私に会うため、わざわざ  
岐阜県から来てくださいました。  
こんなにうれしいことはありません。

心の奥に11年間持ち続けてきた  
感謝の気持ちを、直接千賀さん  
にお伝えできるのです。この場を  
借りして、あらためて里親さまに  
感謝の気持ちを述べさせていた  
だきたいと思います。

私の感謝の気持ちは、青葉奨学  
生なら誰もが持っているものです。  
ベトナムの子どもに厚意を持つ  
すべての方々に感謝申し上げます。

### 奨学金が心をはぐくむ

皆さんがしてくださっているこ  
とは、本当に有意義なことです。  
奨学金は単に経済的援助にとどま  
らず、教育の効果を高める役割も  
間接的に果たしていると思うから  
です。

見ず知らずの日本人が、どうし  
て私たちの成長のために毎月お金  
を出してくれるのか、奨学金受領  
のたびに考えるのです。

無償のご厚意を受けることで自  
然に、社会に有意義な人間になり



ライ・ティ・フーン・ニュンさん  
（一橋大学大学院）

たい、他人を援助できるようにな  
りたいという決意を持つ奨学生が  
育ちます。私もその一人です。

### 日本の弓道の精神を学ぶ

日本に来て弓道を見学した折、  
弓を引いていた85歳のおじいさん  
の姿が印象に残りました。

「素晴らしいですね」と話し  
かけたら、「私が使っている弓の力  
はどのくらいあると思います  
か?」と聞かれ「知りません」と  
答えると、「私の弓は中学校の女  
生徒用程度のもので、私の力は  
弱いのですが、ちゃんと的に向き  
合えば、正確にそれを射ることが  
できます。これが弓道の基本です」  
と話してくれました。

### 目的に向かう

彼が語ったのは「たとえ力が弱  
くても、目的をちゃんと持ちそれ  
に向かえば、何事も必ず実現でき  
る」ということです。

日本留学中の私たちも、目的に  
向かって頑張れば、できないこと  
はないだろう、私はそう思いまし  
た。今後とも、ご指導とご支援を  
お願いいたします。

（文責・編集部）

# メコンデルタ地域の生徒が大量に不登校

今年(2007年)はメコンデルタは未曾有の不登校率だった。各地方の多くの教育管理幹部によると、これまでの客観的な原因のほか、今度は「2NO」(記事末の注を参照)という要因が加わっている。

約10年前の1997年、激しい台風の後、ビンチャウ県(ソクチャン省)ビンハイ村アンラク地区に小学校1校が建設された。

この村には約1,000戸の世帯があり、住民の半分近くが学齢期の子どもで占められており、7~8歳の子が圧倒的に多い。

カニの繁殖期の午前9時ごろ、どの家のドアも閉まっている。在宅するのは老人と病人などカニ漁に出られない人である。

タック・ハーさん(75歳)は「家に誰もいない。子どもも漁に出ている。学校に行ける子どもは数人ぐらいだろう」とつぶやく。

## 生活のため登校を断念

タック・ハーさんの話のように、村はずれで言葉の基礎を勉強している十数人の子どもがいた。

クアック・タイン・トゥーン先生は「早朝から海に出て、養殖したカニを獲る手伝いをするため学校に来られない子がいて、教室には半分しか生徒がいない日もある」と話す。トゥーン先生のクラス以外でも、全員出席のときは今までなかった。

タック・チャー・ズーン先生は「貧しすぎるのです。生徒たちは

数万ドン(百数十円)の金を稼いで家族の食費にあてようとしています。登校しないで漁に出ていることが多いのです」と嘆く。

エビやネギの収穫期に、生徒たちは学校を休み、親と仕事に行く。先生は半日教壇に立ち、半日は生徒ひとりひとりの家や海辺に出かけ、登校するよう説得している。

ビンハイ第1小学校キム・サリー校長先生は「アンラク地区に学校を建ててまだ時間がたっていないのですが、現在は不登校で頭を悩ましています。保護者にお目にかかって説得しても、この地域の住民は貧困に苦しんでいるから答は簡単ではありません」とため息をつく。

キエンザン省キエンハイ離島県では「漁の旬の時期」によって授業の出席率が変動する。同省教育訓練局ニン・タイン・ビエン副局長の話も、漁の最盛期になると生徒たちが家族と漁に出るので不登校生徒数が増えることを認めている。

アンザン省の暫定統計から、昨年度、2,000人以上の生徒が家族と遠方に出稼ぎに出かけているのが分かる。

## 個人の問題ではない!

キエンザン省教育訓練局の統計によると、2006~07年度の全省での不登校者数は約15,000人に達した。内訳は小学生が約4,000人、中学生が約3,000人、高校生が約

8,000人。

不登校の最大の要因は、困難な家計を打開するための家業の手伝いである。

## 「2NO」の実施、原因!?

アンザン省教育訓練局ホー・ヴィエト・ヒエップ局長は、「2NO」の実施がこのような大量不登校に大きな影響をもたらしたと率直に認めている。

同局長は、同省の昨年度の不登校者数が約21,000人で、統計史上最高を記録したと述べた。具体的原因について「不登校者の約2割が貧困で出稼ぎ・転居を余儀なくされた」としている。

不登校者のほとんどは「2NO」運動のせいで落第者した生徒、学力に自信がなく家庭での自習時間をとれない生徒と見られる。

ビエンさんも「2NO」の厳しい実施が生徒の不登校増加の原因に繋がったと指摘しているひとりだ。

「小中高の各学校を観察してみると、最初の学年で不登校者が多い。例えば高校レベルを見ると、高1の不登校者が高2高3よりも圧倒的に多い。不登校者の大部分は『中学卒業資格再評価』を受けた生徒だ。

『再評価』試験を受ける生徒は、もともと学力が低く、自習時間や練習時間も少ないため、基礎知識がしっかりしていない。高校1年生になり、きついカリキュラムに

# 「SOS!食が文字をけり散らす」現地紙報道

ついていけず、学校をやめてしま  
う」という。

## 生計の心配、登校を妨げる!

一方、キエンザン省教育訓練局  
ルー・ヴァン・ズオイ中学担当室  
副室長は、農村部住民の「若稲を  
収穫する」意識に問題があると強  
調する。

農村では、たくさん子どもがい  
て負担が大きい。子どもを早く仕  
事につかせる、というのが一般的  
だ。子どもが中学や高校に進んだ  
段階で正規学校をやめさせ、不正  
規学校(社会人学校。開講時間が  
柔軟で職につきながら通学できる  
学校)へ転校させる。それがこの  
地域の不登校率を高くしている、  
という。

## 学校不足も原因

さらに、学校不足・未整備も不  
登校の要因になっている。例えば、

キエンハイ県では開校条件を満た  
す住民人数を持つ島は2島しかな  
く、残りの島は生徒数が少なすぎ  
て開校できないのが実情だ。

このような生徒たちはより大き  
い島の学校へ通学しなければなら  
ない。教育や交通インフラ未整備  
のため、登校をやめる子も少なく  
ない。

ズオイさんも、前期終了時点で  
学力が低い生徒は両親に退学させ  
られることが多いと述べている。

カマウ省では、不登校者が最も  
多いのは高校レベルの5,813人。  
2番目は小学レベルの3,187人で、  
中学レベルは2,110人である。「家  
計の貧困、生徒の低学力のほか、  
不登校の要因には移民や転居もあ  
る」と、カマウ省教育訓練局タイ  
ヴァン・ロン局長は指摘している。

## カマウ地方など出稼ぎ原因か?

カマウは特に河川が多く、住民

の中には他の地方から船で「出稼  
ぎ」に来る人もいる。これらの「移  
民」は、移住する地域の学校に子  
どもを通わせるが、1回の「移住」  
期間は数カ月と短いので、他地方  
へ移る際は子どもを退学させるの  
だという。

同様にチャヴィン省教育訓練局  
フィン・ホー局長は「長距離バス  
を何回も乗り換えるような遠方に  
出稼ぎに行く住民の場合、子ども  
は親について転居せざるをえない  
から退学を余儀なくされる」とい  
う。このような生徒はチャヴィン  
省の10,000人の不登校者中、かな  
り大きい割合を占めているようで  
ある。

[注]「2NO」は教育大臣が出した指  
示。①消極行為の禁止、②成績至上主  
義の防止を図ったもの。ベトナムの教  
育界は混乱し、教育格差は増大したと  
一部の識者は述べている。

トイチュー (Tuoi Tre) 新聞 (07/12  
/24) より抜粋翻訳 (文責・編集部)

## グエン・ヴァン・チュエンさん (日本女子大学教授) を悼む



グエン・ヴァン・チュエン (Nguyen Van Chuyen) さんが6月16日急逝された。1944  
年生まれ、63歳だった。

63年に日本政府の国費留学生として来日し、東京大学・同大学院で農学を学んだ。

ベトナム青葉奨学会のグエン・ドク・ホウエさんとは来日以来の親友。ベトナムの発展  
のためには日本の科学技術導入が必要というホウエさんの考えに賛同し、在日中のベトナ  
ム留学生を親身になって支援した。

自身の研究や教育で多忙であるにもかかわらず、多くの人から依頼されたさまざまな仕  
事をこなしていた。

専門の食品栄養学の分野では日本とベトナムの学生を教育し、ベトナム人の食生活と健康の問題で大きな貢献  
をし「人民の健康のため」という勲章を授与された。

微笑を絶やさないユーモアのある人で、よき家庭人であった。無私の指導者だったゆえに、自身は意識しない  
大きな疲労がたまっていたのかもしれない。

子供基金の元奨学生(現一橋大学大学院)のライ・ティ・フーン・ニユンさんは「チュエン先生のようにベト  
ナムに貢献できるように頑張りたい」と在日ベトナム青年学生協会のサイトに書いている。(近藤 昇)



## トナムからの手紙

### 祖母の健康、不安です！

グエン・ティ・チャ・ミー

敬愛する里親さま！ あらゆる場所でテトを迎える笑い声が満ちあふれています。

今日、里親さまからのお手紙を受け取りました。里親さまのご健康をお伺いするとともに私のこととお話ししようと思い、返事を書いています。

今年私は14歳になりました。学問の道を歩む十分な自信が持て、より成長したと思います。ご援助のおかげで、この3年間、何度も「表彰状」をいただくことができました。

このテトで私はひとつ歳を重ね、祖母もまた1歳老いたこととなります。日増しに祖母の健康は衰えています。祖母は老年の上体が弱いので、私を養育する十分な力があるとはいえません。

祖母は自分の体が弱ってきていることを知っていながら、私の勉強時間を作るため、体力の要る仕事をやろうとしています。最近、私は祖母のことがかわいそうだと感じます。

今年は7年生になり、勉強も大変難しくなりました。テストの結果を見ると、私がクラスメートの何人かより劣っていることもあり、がっかりすることもあります。そんなときは里親さまの「頑張り、あきらめるな！」という言葉を送

い出します。

私はいつも里親さまのお言葉を心に刻んでいます。それは私に学業試験でよい成績をもたらしてくれています。

私はいつも里親さまのことを自分の2番目の父のようだと思っています。心を込めた深いアドバイスは、私にとって明るく光が射すとも喜びです。将来私がベトナムの発展に貢献でき、父を助けられるようになるために、一生懸命勉強に取り組みなくてはならない、という気持ちにさせてくれます。

何千里も離れた遠い場所から、里親さまとご家族さまのご安寧とご健康、ご幸運、ご成功をお祈り申し上げます。

(Nguyen Thi Tra My)

### 両親がいません

レ・ホアイ・タン

里親さま、私の名前はレ・ホアイ・タンです。ファン・ダン・ルー (Phan Dang Luu) 高等学校の10年A1組(高校1年生)の生徒です。

2007-08年度、私はファン・ダン・ルー高校の推薦を受け、ドンズー日本語学校の青葉奨学金の支援を受けることができるよ



うになりました。この手紙で、里親さまにお礼を申し上げたいと思います。

わが家は困窮家庭に属しています。

私には父がいません。母はほかの男性と結婚しました。

私は小さいころから母方の祖母と暮らしてきました。祖母は今年71歳です。給料をもらえる仕事はなく、毎月のわずかな年金で、生活費と私の学費をまかなっています。

小さいころからこのような状況でしたので、祖母を喜ばせるため一生懸命勉強し、中学校卒業後、ファン・ダン・ルー高校に合格しました。

この夏、地域の社会活動、道路の清掃、ビールやソフトドリンクの缶・瓶集め、植樹、洪水など天災による被災者支援、枯葉剤の被害者支援、人手が足りないお年寄





りの支援、貧しい子どもたちへの文房具援助や彼らに白いシャツを贈る活動、地域の交通安全のお手伝いなどをしました。

高校1年生の前期の成績は頑張りましたが“良”でした。“優”は平均点8.2以上ですが、それに届きませんでした。

ドンズー日本語学校の青葉奨学金をいただけることは、とてもうれしいです。これは私の勉強を勇気づけ、しっかりした自信を与えてくれます。これからも祖母、里親さま、青葉奨学会の先生方の期待に応えるように一生懸命勉強します。

最後になりますが、里親さまの健康をお祈りします。

(Le Hoai Tan)

### 悲しまないでください

フィン・ティエン・ヒエップ  
手紙の始めに、お母さまとご家族の皆さまの新しい1年のご多幸をお祈り申し上げます。

お母さま、この前の成績に対しておほめのお言葉をいただきありがとうございます。私はもっと頑張ります。私はもっともっとほめてもらいたいと心から思ってい

るからです。  
お母さま、どうか私の兄のことはお気にかけないでください。もう悲しみも過ぎ去りました。時には兄が亡くなってよかった

のかもしれないとも思うようになったからです。兄が病気で苦しんでいる姿を見て、私たち家族はとも心を痛めていたからです。

私の家族の生活は前よりはよくなりました。

母は仕事もあるし、姉は病気がかなりよくなりましたし、私と弟は勉強に励んでいます。

私は引越しをしました。祖母の



家とは遠くなるのですが、勉強に便利になるよう、通学している高校の近くに移りました。

ベトナムの学費値上げ問題ですが、多数の保護者の反対で中止されました。もし学費が上がったら、ベトナムでは数多くの子どもたちが学業をあきらめなければならないところでした。

お母さまが書かれたご家族のお話を伺って、私もとても悲

しく残念に思いました。どうして今も数多くの人々が病気になるのでしょうか。このようにつらいことが起こらないよう、あらゆる問題が解決されることを願っています。

今ベトナムは春で、旧正月（テト 2008年2月7日）の準備をしているところです。私もお正月がやってくるのを楽しみにしています。

今ごろになってようやくお手紙のお返事を差し上げて申し訳ありません。

実は先日ようやく前期の試験が終わったところなのです。中学校のころとは大違いで、試験はとても難しく、大変高度な知識が要求されます。試験はうまくいきましたが、成績はまだ分かりません。成績もよいことを願っています。

早く手紙がお母さまのところに届きますように！ もしできたらお返事をください。お母さまのご家族さまがお元気で楽しく過ごされますように。ベトナムではこのように言います。「1つの笑いは10の良薬に値する」

(Huynh Tien Hiep 2008. 1. 30)

(文責・編集部。写真と本文は関係ありません)



## ●事務局から

### ◆ご入金報告 ご支援ありがとうございます(敬称略 「新」は新規会員)

2008年4月

2008年5月

2008年6月

※最終入金日 封筒の宛名ラベルの下に 会員番号KD-××× ○年○月○日と印字してあります。

※基金のお申し込みは下記の専用口座をお願いします。

里親基金&一般基金 口座名義「ベトナム子供基金」

郵便振替 00140-1-70399 銀行振込 みずほ銀行駒込支店 普通預金 1495745

黄梅基金&学校建設基金 口座名義「ベトナム子供基金」

郵便振替 00190-6-666994 銀行振込 みずほ銀行駒込支店 普通預金 8071959

- 2008年の青葉奨学生(=里子):401人(小学生60名 中学生169名 高校生151名 大学生21名)
- 訂正 第43号の2007年決算報告中の「東京事務局」費B-A差額180,000円は▲180,000円の誤り、「当期収支差額」と「同繰越金差額」438,106円は368,106円の誤りでした。訂正し、深くお詫び申し上げます。
- 日越外交関係樹立35周年記念交流事業(ベトナムフェスティバル2008)が、9月20、21日、東京の代々木公園で開かれます。在日ベトナム留学生の協力を得て、当基金も参加します。ぜひお出かけください。
- ベトナムスタディーツアー実行委員会が、10月10日から1週間程度のスタディーツアーを計画しています。参加人数に制限がありますので、ご希望の方はできるだけ早めにベトナム子供基金にご連絡ください。詳細は同封別紙をごらんください。
- ベトナム青葉奨学会グエン・ドク・ホウエ代表が9月中旬に来日します。日程等は未定です。ホウエ代表のお話を聞きたい方は、9月初旬にベトナム子供基金事務局にメール等で問い合わせてください。

### ◆ベトナム子供基金(会員を募集しています)

|                              |  |
|------------------------------|--|
| 里親基金:年額1口2万円<br>学生会員:年額1口1万円 | 特定の「里子」に奨学金を支給する里親になっていただきます。ベトナム青葉奨学金から里子の履歴票が届き、里子と手紙のやりとりができます。 |
| 一般基金 年額1口1万2000円             | 子どもたち全体の「里親」という関係を想定しています。子供基金通信によって、会の運営、子どもたちの様子をお伝えします。         |
| 賛助基金                         | 一般基金に準じます。金額、回数等、いっさい自由です。   |
| 学校建設黄梅基金                     | 青葉奨学会と相談の上、ベトナムの辺地に学校を建設します。当該学校に黄梅奨学金を併設する基金を設立することも可能です。         |
| 個別黄梅基金 1口30万円以上              | 個人またはグループで黄梅基金を設立し預金利子を奨学金とします。基金の名前、支援地域・学校等は、ご相談の上、決定します。        |
| ベトナム黄梅基金 1口1万円               | ベトナム子供基金の会員で基金を設立します。  |

ベトナム青葉奨学会 QUY HOC BONG LA XANH 電話:84-8-8477359 ファクス:84-8-8477527  
c/o TRUONG NHAT NGU DONG DU 43D/46 Ho Van Hue, Q. Phu Nhuan, Ho Chi Minh, Viet Nam  
日本の「ベトナム子供基金」は、ベトナムの「青葉奨学会」を通し、ベトナムの子どもに贈られます。